情報学環・空間情報科学研究センター シンポジウム
「空間を知る～空間・情報・人間～」

■主　催　　東京大学大学院情報学環、東京大学空間情報科学研究センター

■日　時　　平成２４年　５月２５日（金）13:30～16:30

■場　所　　東京大学 本郷キャンパス 工学部２号館９階 92B 教室
（http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html）

■開催趣旨

ユビキタスコンピューティングとは、遍在的にコンピュータ要素を環境中に組み込むことにより、いつでも、どこでも、だれでもが、その時、その場、その人に適したサービスを利用することができるような社会を創り出すための技術体系である。このように実空間と仮想空間が一体となるユビキタスコンピューティング環境においては、「情報」と「空間」の結び付きが欠かせないものとなる。実際、最近では、地理空間情報活用推進基本法の制定、インテリジェント基準点の整備、各種位置情報サービスの展開など、場所情報が社会インフラとして整備された「ユビキタス状況認識社会」の実現に向けた取り組みが進められている。

このような社会的関心の高まりを背景に、本シンポジウムでは、「空間を知る」と題して、東京大学大学院情報学環および空間情報科学研究センターの研究者により、情報学と空間学の密接な関係についての話題を提供し、ユビキタス空間情報社会基盤の構築へ向けた現状と課題についての議論を行う。

■プログラム（予定）

13:00　受付・入場
13:30-13:35　開会挨拶　松本洋一郎（東京大学理事・副学長）
13:35-13:55　「ユビキタスコンピューティングと空間情報学」
坂村　健（東京大学大学院情報学環・副学環長／ユビキタス情報社会基盤研究センター長・教授）
13:55-14:15　「空間情報科学と都市づくり」
浅見泰司（東京大学空間情報科学研究センター・センター長・教授）
14:15-14:35　「社会インフラとしての空間情報」
柴崎亮介（東京大学空間情報科学研究センター・教授）
14:35-14:55　「ユビキタス場所情報システムの最新技術」
越塚　登（東京大学大学院情報学環・教授）
14:55-15:15　「空間情報によって広がる健康の空間分析の可能性」
山田育穂（東京大学大学院情報学環・准教授）
15:15-15:35　「空間・情報・人間をつなぐ学問としての空間情報科学」
石川　徹（東京大学空間情報科学研究センター・准教授）
15:35-15:40　休憩
15:40-16:30　パネルディスカッション「ユビキタス、空間情報、インフラ」
16:30　閉会

■参加申込方法

氏名・所属・連絡先をご記入の上、symposium_csis@sakamura-lab.org までメールでお申し込みください。申込受付のお返事はいたしません。定員が超過しお断りする時のみご連絡いたします。事前申込がない場合でも、当日会場に余裕があればご参加いただけます。

お申し込みの際にご記入いただいた個人情報につきましては、本シンポジウムの参加者管理の目的以外には使用いたしません。